

# CPDの登録区分・重み係数表 (R6.4修正版)

(2024年4月 適用開始)

## 形態区分毎の重み係数

\*表中の「GEO-Net」とは、土質・地質技術者生涯学習協議会の略

形態区分	形態項目	内容 *	区分番号	CPD重み係数	CPD計算	CPD上限	
I 参加型	1. 講演・研修	GEO-Netの加盟団体、日本技術士会、大学、関係学協会(学術団体、公益法人を含む)、民間団体、企業が公式に開催するもの	I 1	1	1×H H:受講時間	-	
	2. 組織内研修	研修プログラムが明示されており、それに基づいて実施され成果が明確なもの	I 2	1	1×H H:受講時間	30 / 年間	
	3. 学協会活動	(1)国・地方公共団体、GEO-Netの加盟団体、日本技術士会、学協会等の審議会・委員会・専門部会の委員として参加(年間を通じた活動であるもの)	I 3	1	1×H H:会議時間/年度	30 / 年間	
		(2)学協会の会誌購読	I 4	1	1×H H:購読時間/年度	10 / 年間	
II 発信型	4. 論文・報告文	(1)GEO-Netの加盟団体、学協会、民間団体等が開催する技術発表会・講習会等での講演	学協会等の公的機関主催	II 1	5	5×H H:発表時間	-
			企業等主催	II 2	2	2×H H:発表時間	-
		(2)講演会・技術発表会での研究発表(学協会主催)	II 3	0.4	0.4×M(分) M:発表時間	-	
		(3)GEO-Netの加盟団体、日本技術士会、学協会、民間団体等が発行する学術誌、技術誌等への論文、報告文の掲載	学術雑誌への査読付技術論文	II 4	40	40×件	
			査読の無い論文及び企業内論文等	II 5	10	10×件	
		(4)GEO-Netの加盟団体、日本技術士会、学協会、民間団体等が発行する学術誌、技術誌等の論文、報告文の査読等	II 6	5	5×件		
	5. 講師・技術指導	(1)GEO-Netの加盟団体、日本技術士会、大学、学協会等の開催する研修会、講習会、技術説明会、シンポジウム、パネルディスカッションの講師等	II 7	3	3×H H:講演時間	30 / 年間	
		(2)小・中・高での理科教育の講師及び企業での研修会等の講師	II 8	1	1×H H:講演時間	30 / 年間	
		(3)修習技術者等に対する具体的な技術指導(修習ガイドブック(日本技術士会)に示す「基本修習課題:専門技術力、業務遂行能力、行動原則」に該当するものに限る)及び大学等の非常勤講師	II 9	1	1×H H:指導時間	30 / 年間	
	6. 図書執筆	出版物等、成果が明確なもの(翻訳を含む)	II 10	1	1×H H:執筆時間/件	30 / 年間	
	7. 技術協力	大学、研究機関等における研究開発・技術開発業務への参加、災害調査への参加、国際機関、国際協力機構等における国際的な技術協力への参加	II 11	1	1×H H:参画時間/年度	30 / 年間	
III 実務型	8. 資格取得	政府機関等の認定あるいは承認する公的な技術資格の取得	(1)技術士、学位取得、応用地形判読士及び地質リスク・エンジニア	III 1	20	20×件	
			(2)地質調査技士、地質情報管理士、RCCM、土木施工管理技士等	III 2	10	10×件	
	9. 業務成果	(1)業務上で技術的成果をあげ、グループ及び個人(本人)が表彰を受けた業務	公的な組織からのもの	III 3	20	20/件	
			企業の代表者からのもの	III 4	10	10/件	
		(2)特許出願(発明者に限る)	III 5	40	40/件		
		(3)現場管理経験(主任技術者、現場管理人、掘削機長、物理探査班長等)	III 6	5	5/業務	10/年間	
		(4)現場経験(一般調査員)	III 7	2	2/業務	10/年間	
		(5)電子納品の実務経験	III 8	1	1/業務	10/年間	
		(6)地質関連情報のデータベース化に関する実務経験	III 9	2	2/業務	10/年間	
IV 自己学習型	10. 多様な自己学習	(1)GEO-Netの加盟団体が認定するeラーニング	IV 1	1	1×H H:履修時間	30 / 年間	
		(2)その他地質技術者のCPDIに値すると判断されるもの	IV 2	0.5	0.5×H H:履修時間		